

# Dell Latitude 3400

## セットアップと仕様ガイド



## メモ、注意、警告

① | **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ | **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

⚠ | **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2019 年 Dell Inc. その関連会社。不許複製・禁無断転載。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

<b>1 コンピュータのセットアップ</b>	<b>5</b>
<b>2 シャーシの概要</b>	<b>7</b>
正面図	7
左面図	8
右面図	9
底面図	10
パームレストの図	10
キーボードのショートカット	12
<b>3 システム仕様</b>	<b>14</b>
システム情報	14
プロセッサ	14
メモリ	14
ストレージ	15
インテル Optane メモリ ( オプション )	15
システム基板のコネクタ	16
メディア カードリーダー	16
オーディオ	16
ビデオカード	16
カメラ	17
通信	17
ワイヤレス	17
ポートとコネクタ	18
ディスプレイ	18
キーボード	19
タッチパッド	19
オペレーティングシステム	19
バッテリー	20
電源アダプタ	20
寸法と重量	21
コンピュータ環境	21
セキュリティ	22
セキュリティソフトウェア	22
その他のソフトウェア	23
<b>4 ソフトウェア</b>	<b>24</b>
ドライバのダウンロード	24
<b>5 セットアップユーティリティ</b>	<b>25</b>
セットアップユーティリティ	25

起動オプション.....	25
システム設定.....	26
ビデオ画面オプション.....	28
セキュリティ.....	28
パスワード.....	30
Secure Boot ( 安全起動 ) .....	31
Expert Key Management.....	31
パフォーマンス.....	31
電力管理.....	32
ワイヤレスオプション.....	33
POST 動作.....	34
Virtualization Support ( 仮想化サポート ) .....	35
メンテナンス.....	35
システムログ.....	36
SupportAssist システムの解決策.....	36
<b>6 ヘルプ.....</b>	<b>37</b>
デルへのお問い合わせ.....	37

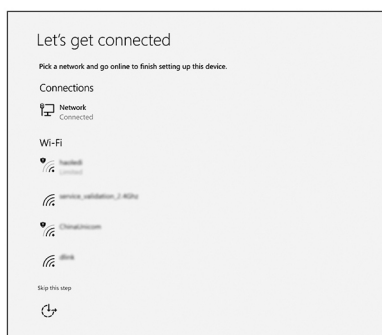
# コンピュータのセットアップ

- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押します。



- 2 画面の手順に従って Windows セットアップを終了します。









- a ネットワークに接続します。



- b Microsoft アカウントにサインイン、または新しいアカウントを作成します。

Make it yours

Your Microsoft account opens a world of benefits. [Learn more](#)

[Forgot my password](#)

No account? [Create one!](#)

[Microsoft privacy statement](#)

[Sign in](#)

- 3 Dell アプリを見つけます。

表 1. Dell アプリを見つける

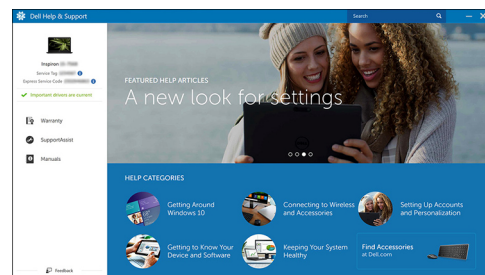
機能

仕様



コンピュータを登録する

Dell ヘルプとサポート

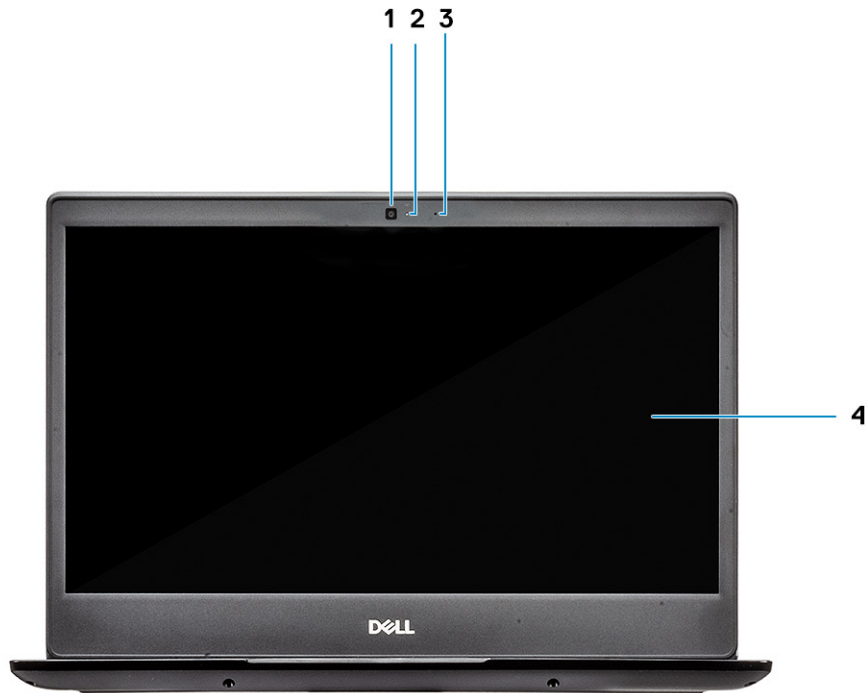


SupportAssist — コンピュータを確認してアップデートする

## シャーシの概要

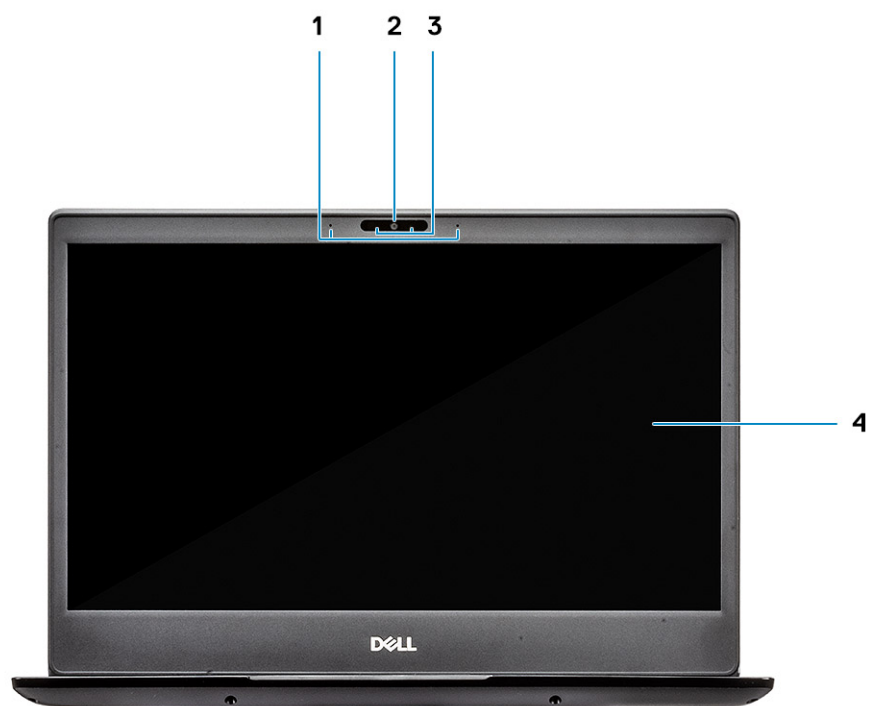
### 正面図

Latitude 3400 (タッチ非対応画面)



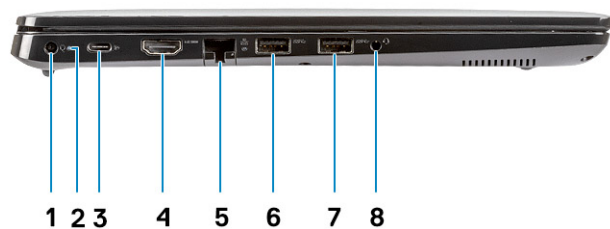
- 1 マイク
- 2 カメラ
- 3 カメラステータスライト
- 4 LCD パネル

Latitude 3400 (タッチ対応画面) (オプション)



- 1 マイク
- 2 カメラ
- 3 カメラステータスライト
- 4 LCD パネル

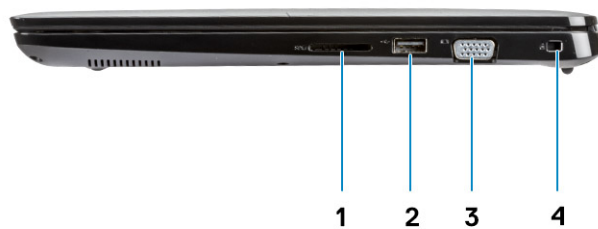
## 左面図





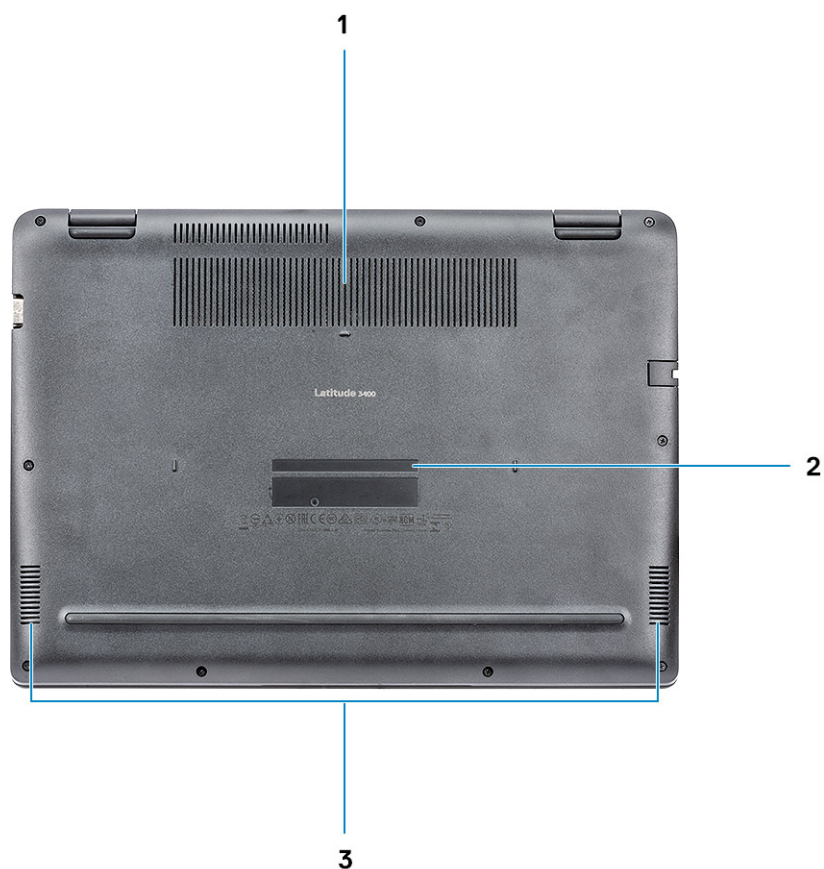
- 1 電源コネクタ
- 2 バッテリー ステータス ライト
- 3 USB Type-C 3.1 Gen 1 ポート ( Power Delivery および DisplayPort 対応 )
- 4 HDMI 1.4 ポート
- 5 ネットワークポート
- 6 USB 3.1 Gen 1 ポート ( PowerShare 対応 )
- 7 USB 3.1 Gen 1 ポート
- 8 ヘッドセットポート

## 右面図



- 1 SD 3.0 メモリカードリーダー
- 2 USB 2.0 ポート
- 3 VGA ポート
- 4 Noble Wedge ロックスロット

## 底面図



- 1 ヒートシンク通気孔
- 2 サービスタグラベル
- 3 スピーカー

## パームレストの図

パームレストの図（指紋認証リーダーなし）



- 1 電源ボタン
- 2 キーボード
- 3 タッチパッド

指紋認証リーダー内蔵パームレストの図（オプション）



- 1 タッチ式指紋認証リーダー内蔵電源ボタン（オプション）
- 2 キーボード
- 3 タッチパッド

## キーボードのショートカット

① **メモ:** キーボードの文字は、キーボードの言語設定によって異なる場合があります。ショートカットに使用するキーは、すべての言語設定で同じです。

表 2. キーボードのショートカットのリスト

キー	説明
Fn+F1	消音
Fn+F2	音量を下げる
Fn+F3	音量を上げる
Fn+F4	マイクのミュート
Fn+F5	Num lock
Fn+F6	スクロール ロック

キー	説明
Fn+F7	タスクビューの起動
Fn+F8	ディスプレイの切り替え ( Win+P )
Fn+F9	検索
Fn+F10	キーボード バック ライトの切り替え
Fn+F11	プリント スクリーン
Fn+F12	挿入
Fn+Home	ワイヤレスのオン/オフの切り替え
Fn+End	スリープ
Fn+Ctrl	アプリケーションの起動
Fn+Esc	Fn キーロックの切り替え
Fn+上矢印	輝度を上げる
Fn+下矢印	輝度を下げる

## システム仕様

### システム情報

表 3. システム情報

特長	仕様
チップセット	統合プロセッサ
DRAM バス幅	64 ビット
フラッシュ EPROM	16 MB
PCIe バス	Gen3 まで

### プロセッサー

① **メモ:** プロセッサー ナンバーは、性能の指標となるものではありません。プロセッサーの可用性は変更されることがあり、地域/国により異なる場合があります。

表 4. プロセッサの仕様

タイプ	UMA グラフィックス	専用グラフィックス カード
第 8 世代インテル Core i7-8565U プロセッサー ( 8 MB キャッシュ、4 コア/8 スレッド、1.8 GHz ~ 4.6 GHz、15 W TDP )	インテル UHD グラフィックス 620	Nvidia GeForce MX130 グラフィックス
第 8 世代インテル Core i5-8265U プロセッサー ( 6 MB キャッシュ、4 コア/8 スレッド、1.6 GHz ~ 3.9 GHz、15 W TDP )	インテル UHD グラフィックス 620	Nvidia GeForce MX130 グラフィックス
第 8 世代インテル Core i3-8145U プロセッサー ( 4 MB キャッシュ、2 コア/4 スレッド、2.1 GHz ~ 3.9 GHz、15 W TDP )	インテル UHD グラフィックス 620	Nvidia GeForce MX130 グラフィックス

### メモリ

表 5. メモリの仕様

特長	仕様
最低メモリ構成	4 GB
最大メモリ構成	64 GB

特長	仕様
スロット数	2 x SODIMM
スロットあたりでサポートされる最大メモリ	32 GB
メモリオプション	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 GB ( 1 x 4 GB )</li> <li>8 GB ( 2 x 4 GB )</li> <li>8 GB ( 1 x 8 GB )</li> <li>16 GB ( 2 x 8 GB )</li> <li>16 GB ( 1 x 16 GB )</li> <li>32 GB ( 2 x 16 GB )</li> <li>64 GB ( 2 x 32 GB )</li> </ul>
タイプ	DDR4 SDRAM ( Non-ECC メモリ )
速度	2400 MHz

## ストレージ

表 6. ストレージの仕様

タイプ	フォームファクタ	インタフェース	容量
ハードディスクドライブ	SATA	SATA Gen 3 ( 5400 RPM )	最大 1 TB
PCIe NVMe ソリッドステートドライブ ( クラス 35 )	M.2 SSD 2280	PCIe Gen 3x4 NVMe、最大 32 Gbps	最大 1 TB
PCIe NVMe ソリッドステートドライブ ( クラス 35 )	M.2 SSD 2230	PCIe Gen 3x4 NVMe、最大 32 Gbps	最大 1 TB

## インテル Optane メモリ ( オプション )

インテル Optane メモリはストレージ アクセラレーターとしてのみ機能します。お使いのコンピューターに搭載されているメモリ ( RAM ) に取って代わるものでも、それを追加するものでもありません。

① **メモ:** インテル M15 Optane メモリは、次の要件を満たすコンピューターでサポートされます。

- 第 8 世代以降のインテル Core i3/i5/i7 プロセッサー
- Windows 10 64 ビット バージョン 1607 以降 ( Anniversary Update )
- インテル ラピッド ストレージ テクノロジー ドライバ バージョン 17.0 以降
- UEFI BIOS 設定

表 7. インテル Optane メモリの仕様

特長	仕様
インタフェース	PCIe3x4 NVMe
コネクタ	M.2 カード スロット ( 2280 )
サポートされている構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>第 8 世代以降のインテル Core i3/i5/i7 プロセッサー</li> <li>Windows 10 64 ビット バージョン 1607 以降 ( Anniversary Update )</li> <li>インテル ラピッド ストレージ テクノロジー ドライバ バージョン 17.0 以降</li> </ul>

特長	仕様
	<ul style="list-style-type: none"> <li>UEFI BIOS 設定</li> </ul>
容量	32 GB

## システム基板のコネクタ

表 8. システム基板のコネクタ

特長	仕様
M.2 コネクタ	M.2 2280 キー M コネクタ

## メディア カード リーダー

表 9. メディアカードリーダーの仕様

特長	仕様
タイプ	SD カードスロット ( 1 )
サポートされているカード	SD 3.0

## オーディオ

表 10. オーディオの仕様

特長	仕様
コントローラ	Realtek ALC3204
スピーカー	2 台
インタフェース	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルオーディオジャック</li> <li>高音質スピーカー</li> <li>ノイズ低減アレイ マイク</li> <li>ステレオヘッドセット / マイクコンボ</li> </ul>
アンブ内蔵スピーカー	2W ( RMS ) /チャンネル

## ビデオカード

表 11. ビデオ カードの仕様

コントローラ	タイプ	CPU の依存関係	グラフィックス メモリタイプ	容量	外部ディスプレイ対応	最大解像度
インテル UHD グラフィックス 620	UMA	<ul style="list-style-type: none"> <li>インテル Core i7-8565U CP</li> </ul>	内蔵	共有システムメモリ	<ul style="list-style-type: none"> <li>HDMI 1.4b ポート</li> <li>VGA ポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1920 x 1200 ( 60Hz )</li> <li>1920 x 1200 ( 60Hz )</li> </ul>



コントローラ	タイプ	CPU の依存関係	グラフィックスメモリタイプ	容量	外部ディスプレイ対応	最大解像度
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• インテル Core i5-8265U CP</li> <li>• インテル Core i3-8145U CPU</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>• ディスプレイポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 3840 x 2400 ( 60Hz )</li> </ul>
Nvidia GeForce MX130 と同等、2 GB	ディスクリート	NA	GDDR5	2 GB	NA	NA

## カメラ

表 12. カメラの仕様

特長	仕様
解像度	カメラ : <ul style="list-style-type: none"> <li>• 静止画像 : 0.92 メガピクセル</li> <li>• 動画 : 1280 x 720 ( 30 fps において )</li> <li>• 静止画像 : 0.92 メガピクセル</li> <li>• 動画 : 1280 x 720 ( 60 fps において )</li> </ul>
対角視野角	<ul style="list-style-type: none"> <li>• カメラ - 86.7 度</li> </ul>

## 通信

表 13. 通信の仕様

特長	仕様
ネットワークアダプター	内蔵 Realtek RTL8111H/100/1000 Mb/s Ethernet ( RJ-45 )

## ワイヤレス

表 14. ワイヤレスの仕様

仕様
Qualcomm QCA9377 802.11ac シングル バンド ( 1x1 ) ワイヤレス アダプタ + Bluetooth 4.1
Qualcomm QCA61x4A 802.11ac デュアル バンド ( 2x2 ) ワイヤレス アダプタ + Bluetooth 4.2
インテル Dual-Band Wireless-AC 9560 Wi-Fi + Bluetooth 5.0 ワイヤレス カード ( 2x2 )、Bluetooth ( オプション )
インテル Wi-Fi 6 AX200 2x2.11ax 160MHz + Bluetooth 5.0
Dell DW5820e インテル 7360 LTE-A、LTE Cat 9

# ポートとコネクタ

表 15. ポートとコネクタ

特長	仕様
メモリーカードリーダー	1 x SD 3.0 メモリーカードリーダー
VGA	VGA ポート ( 1 )
HDMI	HDMI </Z2>
USB	<ul style="list-style-type: none"><li>• USB Type-C 3.1 Gen 1 ( Power Delivery および DisplayPort 対応 ) ( 1 )</li><li>• USB 3.1 Gen 1 ポート ( 1 )</li><li>• USB 3.1 Gen 1 ( PowerShare 対応 ) ポート ( 1 )</li><li>• USB 2.0 ポート ( 1 )</li></ul>
セキュリティ	Noble Wedge ロック スロット
オーディオ	ユニバーサルオーディオジャック
ビデオ	HDMI 1.4
ネットワークアダプター	RJ-45 コネクタ ( 1 )
その他	電源ボタン対応のタッチ式指紋認証リーダー ( オプション )、Noble Wedge ロック スロット

# ディスプレイ

表 16. ディスプレイの仕様

特長	仕様
タイプ	<ul style="list-style-type: none"><li>• 14.0 インチ HD ( 1366x768 ) 非光沢、カメラとマイク</li><li>• 14.0 インチ フル HD ( 1920 x 1280 ) 非光沢、カメラとマイク</li><li>• 14.0 インチ フル HD ( 1920 x 1280 ) 非光沢、組み込み型タッチ対応、赤外線カメラ、マイク内蔵</li></ul>
対角線	14 インチ
明るさ/輝度 ( 標準 )	220 nits
リフレッシュレート	60 Hz
水平可視角度 ( 最小 )	+/- 40 度
垂直可視角度 ( 最小 )	+10/-30 度

# キーボード

表 17. キーボードの仕様

特長	仕様
キーの数	<ul style="list-style-type: none"><li>103 ( 米国およびカナダ )</li><li>104 ( ヨーロッパ )</li><li>106 ( ブラジル )</li><li>107 ( 日本 )</li></ul>
サイズ	フル サイズ <ul style="list-style-type: none"><li>X = 19.00 mm キー ピッチ</li><li>Y = 19.00 mm キー ピッチ</li></ul>
バックライト付きキーボード	yes
レイアウト	QWERTY / AZERTY / 漢字

# タッチパッド

表 18. タッチパッドの仕様

特長	仕様
解像度	<ul style="list-style-type: none"><li>水平方向 : 305</li><li>垂直方向 : 305</li></ul>
寸法	<ul style="list-style-type: none"><li>幅 : 105 mm ( 4.13 インチ )</li><li>高さ : 80 mm ( 3.15 インチ )</li></ul>
マルチタッチ	4 本の指に対応

# オペレーティングシステム

表 19. オペレーティングシステム

特長	仕様
サポートされているオペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"><li>Microsoft Windows 10 Home ( 64 ビット )</li><li>Microsoft Windows 10 Professional ( 64 ビット )</li><li>Windows 10S ( CMIT 可 )( UMA のみ )</li><li>Ubuntu 18.04 LTS 64 ビット</li><li>NeoKylin 6.0 64 ビット</li></ul>

# バッテリー

表 20. バッテリーの仕様

特長	仕様
タイプ	<ul style="list-style-type: none"><li>42 WHr「スマート」リチウムイオン 3 セル バッテリ</li><li>56 WHr「スマート」リチウムイオン 4 セル バッテリ</li></ul>
寸法	<ol style="list-style-type: none"><li>42 WHr「スマート」リチウムイオン<ul style="list-style-type: none"><li>長さ : 175.5 mm ( 6.909 インチ )</li><li>幅 : 91 mm ( 3.58 インチ )</li><li>高さ : 5.9 mm ( 0.23 インチ )</li><li>重量 : 177.7g</li></ul></li><li>56 WHr「スマート」リチウム イオン<ul style="list-style-type: none"><li>長さ : 233.17 mm ( 9.18 インチ )</li><li>幅 : 91 mm ( 3.58 インチ )</li><li>高さ : 5.9 mm ( 0.23 インチ )</li><li>重量 : 236.00 g</li></ul></li></ol>
重量 ( 最大 )	252 g
電圧	<ul style="list-style-type: none"><li>42 WHr - 11.4 VDC</li><li>56 WHr - 15.2 VDC</li></ul>
寿命	300 回の放電/再充電
コンピュータ非起動時の充電時間 ( 概算 )	4 時間
動作時間	動作状況によって異なり、電力を著しく消費するような状況ではかなり短くなる可能性があります。
温度範囲 : 動作時	0 ~ 35°C ( 32 ~ 95°F )
温度範囲 : 保管時	-40°C ~ 65 °C ( -40°F ~ 149°F )
コイン型電池	ML1220

# 電源アダプタ

表 21. 電源アダプタの仕様

特長	仕様
タイプ	<ul style="list-style-type: none"><li>45W アダプタ、4.5 mm バレル</li><li>65W アダプタ、4.5 mm バレル</li><li>65W アダプタ、USB Type-C</li></ul>

特長	仕様
	<ul style="list-style-type: none"> <li>90W アダプタ、USB Type-C</li> </ul>
入力電圧	100 VAC ~ 240 VAC
入力電流 (最大)	<ul style="list-style-type: none"> <li>180 W - 2.34 A</li> <li>180 W - 3.5 A</li> </ul>
アダプタのサイズ	
入力周波数	50 ~ 60 Hz
出力電流	<ul style="list-style-type: none"> <li>180 W - 9.23 A (継続)</li> <li>180 W - 12.31 A (継続)</li> </ul>
定格出力電圧	19.5 VDC
温度範囲 (動作時)	0 ~ 40°C (32 ~ 104°F)
温度範囲 (非動作時)	40 ~ 70°C (-40 ~ 158°F)

## 寸法と重量

表 22. 寸法と重量

特長	仕様
高さ	前面の高さ - 18.65 mm (0.73 インチ) 背面の高さ - 19.2 mm (0.76 インチ)
幅	330.3mm (13.0 インチ)
奥行き	238mm (9.37 インチ)
重量	最小重量 1.75 kg (3.85 ポンド)

## コンピュータ環境

空気汚染物質レベル : G1 (ISA-S71.04-1985 の定義による)

表 23. コンピュータ環境

	動作時	保管時
温度範囲	0 ~ 35°C (32 ~ 95°F)	-40°C ~ 65 °C (-40°F ~ 149°F)
相対湿度 (最大)	10% ~ 80% (結露しないこと) <i>i</i>   <b>メモ:</b> 最大露点温度 = 26°C	10 ~ 95 % (結露しないこと) <i>i</i>   <b>メモ:</b> 最大露点温度 = 33°C
振動 (最大)	0.26 GRMS	1.37 GRMS

	動作時	保管時
衝撃 ( 最大 )	105 G †	40 G ‡
高度 ( 最大 )	-15.2 m ~ 3048 m ( -50 フィート ~ 10,000 フィート )	-15.2 m ~ 10,668 m ( -50 フィート ~ 35,000 フィート )

\* ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用して測定。

† ハードドライブの使用中に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

‡ ハードドライブヘッドが停止位置にある時に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

## セキュリティ

表 24. セキュリティ

特長	仕様
TPM ( Trusted Platform Module ) 2.0	システム基板内蔵
Firmware TPM	オプション
Windows Hello のサポート	オプション
ケーブルカバー	オプション

## セキュリティ ソフトウェア

表 25. セキュリティ ソフトウェア

特長	仕様
Dell Endpoint Security Suite Enterprise	オプション
Dell Data Guardian	オプション
Dell Encryption ( Enterprise または Personal )	オプション
Dell Threat Defense	オプション
RSA SecurID Access	オプション
RSA NetWitness Endpoint	オプション
MozyPro または MozyEnterprise	オプション
VMware Airwatch/WorkspaceONE	オプション
Absolute Data & Device Security	オプション

# その他のソフトウェア

表 26. その他のソフトウェア

特長	仕様
Dell Precision Optimizer V3.0	Standard ( 標準 )
Teradici PCoIP Workstation Access Software	オプション

## ソフトウェア

この章では、サポート対象のオペレーティングシステムとドライバのインストール方法を説明します。

### ドライバのダウンロード

- 1 ノートブックの電源を入れます。
- 2 **Dell.com/support** にアクセスしてください。
- 3 **Product Support (製品サポート)** をクリックし、お使いのノートブックのサービスタグを入力して、**Submit (送信)** をクリックします。  
① **メモ:** サービスタグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いのノートブックのモデルを手動で参照してください。
- 4 **ドライバおよびダウンロード** をクリックします。
- 5 お使いのノートブックにインストールされているオペレーティングシステムを選択します。
- 6 ページをスクロールダウンし、インストールするドライバを選択します。
- 7 **Download File (ファイルのダウンロード)** をクリックして、お使いのノートブックのドライバをダウンロードします。
- 8 ダウンロードが完了したら、ドライバファイルを保存したフォルダに移動します。
- 9 ドライバファイルのアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。



# セットアップユーティリティ

## セットアップユーティリティ

△ **注意:** コンピューターに詳しい方以外は、BIOS セットアップ プログラムの設定を変更しないでください。特定の変更でコンピューターが誤作動を起こす可能性があります。

① **メモ:** BIOS セットアップ プログラムを変更する前に、後で参照できるように、BIOS セットアップ プログラム画面の情報を控えておくことをお勧めします。

BIOS セットアップ プログラムは次の目的で使用します。

- RAM の容量やハードドライブのサイズなど、コンピューターに取り付けられているハードウェアに関する情報の取得。
- システム設定情報の変更。
- ユーザー パスワード、取り付けられたハードドライブの種類、基本デバイスの有効化または無効化など、ユーザー選択可能オプションの設定または変更。

## 起動オプション

表 27. 一般規定

オプション	説明
Boot Mode ( 起動モード )	<p>コンピューターによるオペレーティングシステムの検索順序を変更できます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Windows Boot Manager</b></li> <li>• <b>UEFI ハード ドライブ</b></li> </ul> <p>[ <b>Boot Sequence</b> ] ウィンドウで起動順序オプションを変更することができます。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>– <b>Add Boot Option</b></li> <li>– <b>Remove Boot option</b></li> <li>– <b>表示</b></li> </ul>
Bios Setup Advanced Mode	<p>BIOS セットアップ詳細モードの設定を有効または無効にできます。</p>
UEFI Boot Path Security	<p>UEFI 起動パスを起動する際に、システムからユーザーに管理者パスワードの入力を求めるどうかを制御できます。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Always, Except Internal HDD</b> - デフォルト</li> <li>• <b>Always ( 常に )</b></li> <li>• <b>なし</b></li> </ul>

# システム設定

表 28. システム設定

オプション	説明
Date/Time	日付と時間を設定することができます。システム日時の変更はすぐに反映されます。
Enable SMART Reporting ( SMART レポートを有効にする )	このフィールドでは、統合ドライブのハードドライブエラーをシステム起動時に報告するかどうかを制御します。このテクノロジーは、SMART ( Self Monitoring Analysis And Reporting Technology ) 仕様の一部です。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
Integrated NIC	<p>内蔵ネットワークコントローラを設定することができます。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <p><b>Enable UEFI Network Stack</b></p> <p>有効になっている場合、UEFI ネットワーク プロトコルがインストールされ、pre-OS と early OS のネットワーク機能で有効な NIC を使用できます。これは、PXE の電源を入れなくても使用できる場合があります。</p> <p><b>Integrated NIC</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• Disabled ( 無効 )</li><li>• 有効</li><li>• Enabled w/PXE - デフォルト</li></ul>
Enable Audio ( オーディオを有効にする )	<p>すべての内蔵オーディオのオン/オフを切り替えたり、マイクと内蔵スピーカーを別々に有効/無効にしたりできます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• Enable Audio ( オーディオを有効にする )</li><li>• Enable Microphone ( マイクを有効にする )</li><li>• Enable Internal Speaker ( 内蔵スピーカーを有効にする )</li></ul> <p>このオプションはデフォルトで有効化されています。</p>
USB 設定	<p>内蔵 USB 設定の有効/無効を切り替えることができます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• Enable USB Boot Support ( USB 起動サポートを有効にする )</li><li>• Enable External USB Ports ( 外付け USB ポートを有効にする )</li></ul> <p>すべてのオプションがデフォルトで設定されています。</p> <p><b>①   メモ:</b> USB キーボードおよびマウスは、この設定に関係なく BIOS セットアップで常に動作します。</p>
SATA Operation	<p>統合 SATA ハードドライブコントローラの動作モードを設定することができます。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• Disabled ( 無効 )</li><li>• AHCI</li><li>• RAID - デフォルト</li></ul>

## Drives

① | **メモ:** RAID モードをサポートするには SATA を設定します。

各種オンボード ドライブを有効または無効に設定することができます。

オプションは次のとおりです。

- **SATA-0**
- **M.2 PCIe SSD-0/SATA-2**

すべてのオプションがデフォルトで設定されています。

## Miscellaneous devices

各種オンボードデバイスを有効または無効にすることができます。

- **Enable Camera** - デフォルト
- **Enable Hard Drive Free Fall Protection** - デフォルト
- **Enable Secure Digital (SD) Card** - デフォルト
- **Secure Digital Card (SD) Read-Only Mode**
- **Secure Digital (SD) Card Boot ( SD カード起動 )**

## Enable USB PowerShare ( USB PowerShare を有効にする )

外付けデバイスの電源をオン/オフしたり、蓄積されているシステム バッテリを使用して充電したりできます。

## Keyboard Illumination

このフィールドでは、キーボードライト機能の動作モードを設定できます。キーボードの輝度レベルを、0% ~ 100%の間で設定できます。

オプションは次のとおりです。

- **Disabled ( 無効 )**
- **Dim ( 暗い )**
- **Bright**- デフォルト

## Keyboard Backlight Timeout on AC

AC アダプタがシステムに接続されている場合に、キーボード バックライトのタイムアウト値を設定できます。キーボード バックライトのタイムアウト値は、バックライトが有効になっている場合にのみ有効です。

- **5 秒**
- **10 seconds**—デフォルト
- **15 秒**
- **30 秒**
- **1 分間**
- **5 minutes**
- **15 分間**
- **なし**

## Keyboard Backlight Timeout on Battery

システムをバッテリー電源のみで実行している場合に、キーボード バックライトのタイムアウト値を設定できます。キーボード バックライトのタイムアウト値は、バックライトが有効になっている場合にのみ有効です。

- **5 秒**
- **10 seconds**—デフォルト
- **15 秒**
- **30 秒**
- **1 分間**
- **5 minutes**
- **15 分間**
- **なし**

オプション	説明
Unobtrusive Mode ( 控えめモード )	<b>Enable unobtrusive Mode</b> このオプションがオンの場合、システムのすべてのライトとサウンドがオフになります。このオプションは、デフォルトで「オフ」に設定されています。
タッチスクリーン	オペレーティング システムのタッチ画面を有効または無効にすることができます。このオプションは、デフォルトで「オン」に設定されています。
DellCoreServices	このオプションは、SSDT ACPI 仮想デバイス テーブルの起動時間の作成を制御します。
Dell Type-C Dock Configuration	Dell Dock の構成設定を有効または無効にすることができます。

## ビデオ画面オプション

表 29. ビデオ

オプション	説明
LCD Brightness	電源に応じて、ディスプレイの輝度を設定できます。電源は、バッテリー ( 50% がデフォルト ) と AC ( 100% がデフォルト ) です。

## セキュリティ

表 30. セキュリティ

オプション	説明
<b>Enable Admin Setup Lockout ( 管理者セットアップ ロックアウトを有効にする )</b>	管理者パスワードが設定されている場合、ユーザーによるセットアップユーティリティの起動を阻止することができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enable Admin Setup Lockout ( 管理者セットアップロックアウトを有効にする )</b></li> </ul> このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
<b>Enable CPU XD Support</b>	CPU XD サポートを有効または無効にすることができます。 このオプションはデフォルトで有効化されています。
<b>Password Bypass</b>	有効になっている場合は、システムが電源オフの状態から電源を入れたとき、システム パスワードおよび内蔵ハードドライブ パスワードのプロンプトを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Disabled</b> - デフォルト</li> <li>• Reboot bypass ( 再起動のスキップ )</li> </ul>
<b>Enable Non-Admin Password Changes</b>	システムパスワードおよびハード ドライブ パスワードを変更することができます。 このオプションはデフォルトで有効化されています。
<b>Non-Admin Setup Changes</b>	管理者パスワードが設定されている場合に、セットアップオプションの変更を許可するかどうかを決めることができます。無効に設定すると、セットアップオプションは管理者パスワードによってロックされます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Allow Wireless Switch Changes</b></li> </ul> このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
<b>Enable UEFI Capsule Firmware Updates</b>	システム BIOS を UEFI カプセル アップデート パッケージでアップデートすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enable UEFI Capsule Firmware Updates</b></li> </ul>

オプション	説明
	このオプションは、デフォルトで設定されています。
<b>TPM 2.0 Security</b>	POST 中に、TPM ( Trusted Platform Module ) を有効または無効にすることができます。 オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>TPM On</b> - デフォルト</li> <li>• <b>Clear ( クリア )</b></li> <li>• <b>PPI Bypass for Enable Command</b> - デフォルト</li> <li>• <b>PPI Bypass for Disable Command</b></li> <li>• <b>PPI Bypass for Clear Command</b></li> <li>• <b>Attestation Enable</b> - デフォルト</li> <li>• <b>Key Storage Enable</b> - デフォルト</li> <li>• <b>SHA-256</b> - デフォルト</li> </ul>
<b>有効なコマンドの PPI をスキップ</b>	このオプションは、TPM Physical Presence Interface を制御します。 このオプションはデフォルトで有効化されています。
<b>無効なコマンドの PPI をスキップ</b>	このオプションは、TPM Physical Presence Interface を制御します。 このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
<b>PPI Bypass for Clear Commands</b>	このオプションは、TPM Physical Presence Interface を制御します。 このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
<b>Attestation Enable ( アテステーションを有効にする )</b>	このオプションは、オペレーティング システムで利用できる TPM の認証ヒエラルキーを制御できます。このオプションは、署名および署名の操作のために TPM を使用する機能を制限します。 このオプションはデフォルトで有効化されています。
<b>Key Storage Enable ( キーストレージを有効にする )</b>	このオプションは、オペレーティング システムで利用できる TPM の認証ヒエラルキーを制御できます。この設定は所有者データを保存するために TPM を使用する機能を制限します。 このオプションはデフォルトで有効化されています。
<b>SHA-256</b>	これは、SHA-256 設定オプションを制御できます。 このオプションはデフォルトで有効化されています。
<b>Clear ( クリア )</b>	このオプションは、TPM 所有者情報をクリアできます。
<b>TPM State</b>	このオプションでは、TPM を有効または無効にできます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Disabled ( 無効 )</b></li> <li>• <b>有効</b></li> </ul> このオプションはデフォルトで有効化されています。
<b>Intel Platform Trust Technology On</b>	このオプションでは、インテル Platform Trust Technology の機能を、オペレーティング システム内で表示する必要があります。 このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
<b>Intel SGX</b>	有効になっている場合、コードの実行やオペレーティング システムの情報の保存に安全な環境を提供します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Disabled ( 無効 )</b></li> <li>• <b>有効</b></li> </ul>

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Software control</b> - デフォルト</li> </ul>
<b>SMM Security Mitigation</b>	<p>UEFI SMM Security Mitigation による追加の保護を有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>SMM Security Mitigation</b></li> </ul> <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>

## パスワード

表 31. パスワード

オプション	説明
<b>Enable Strong Passwords</b>	<p>管理者パスワードとシステムパスワードに厳格なルールを設定できます。</p> <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
<b>Password Configuration</b>	<p>管理者パスワードとシステムパスワードの最小および最大文字数を設定または変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Admin Password Min</b> ( 管理者パスワードの最小文字数 )</li> <li>• <b>Admin Password Max</b> ( 管理者パスワードの最大文字数 )</li> <li>• <b>System Password Min</b> ( システムパスワードの最小文字数 )</li> <li>• <b>System Password Max</b> ( システムパスワードの最大文字数 )</li> </ul>
<b>Admin Password</b>	<p>管理者 ( Admin ) パスワードを設定、変更、削除することができます。</p> <p>パスワードを設定するには、次の項目を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enter the old password:</b></li> <li>• <b>Enter the new password:</b></li> <li>• <b>Confirm new password:</b></li> </ul> <p>パスワードを設定したら、<b>OK</b> をクリックします。</p> <p><b>① メモ:</b> 初回ログイン時には、「Enter the old password」フィールドは「Not set」となっています。このため初回のログインではパスワードを設定する必要があり、以降はパスワードの変更や削除が可能となります。</p>
<b>System Password</b>	<p>システムパスワードを設定、変更、削除することができます。</p> <p>パスワードを設定するには、次の項目を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enter the old password:</b></li> <li>• <b>Enter the new password:</b></li> <li>• <b>Confirm new password:</b></li> </ul> <p>パスワードを設定したら、<b>OK</b> をクリックします。</p> <p><b>① メモ:</b> 初回ログイン時には、「Enter the old password」フィールドは「Not set」となっています。このため初回のログインではパスワードを設定する必要があり、以降はパスワードの変更や削除が可能となります。</p>
<b>Internal HDD-0 Password</b>	<p>ハードドライブのパスワードを変更できます。</p> <p>パスワードを設定するには、次の項目を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enter the old password:</b></li> </ul>

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Enter the new password:</li> <li>• Confirm new password:</li> </ul>
Enable Master Password Lockout	<p>このオプションは、マスター パスワードのサポートを無効にします。</p> <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>

## Secure Boot ( 安全起動 )

表 32. 安全起動

オプション	説明
Enable Secure Boot	<p>Secure Boot 機能を有効または無効にできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Secure Boot Enable</b> - デフォルト</li> </ul>
Secure Boot Mode	<p>Secure Boot 操作モードを変更すると、Secure Boot の動作が変更され、UEFI ドライバ署名の評価ができるようになります。</p> <p>いずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Deployed Mode</b> - デフォルト</li> <li>• <b>Audit Mode</b></li> </ul>

## Expert Key Management

表 33. Expert Key Management

オプション	説明
Expert Key Management	<p>Expert Key Management を有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Custom Mode Key Management</b></li> </ul> <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p> <p>Custom Mode Key Management のオプションは次のとおりです</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>PK</b> - デフォルト</li> <li>• <b>KEK</b></li> <li>• <b>db</b></li> <li>• <b>dbx</b></li> </ul>

## パフォーマンス

表 34. パフォーマンス

オプション	説明
Intel Hyper-Threading Technology	ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。

オプション	説明
	このオプションは、デフォルトで設定されています。
Intel SpeedStep	<p>プロセッサのインテル SpeedStep モードを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enable Intel SpeedStep Technology</b></li> </ul> <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
Intel TurboBoost Technology	<p>プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enable Intel TurboBoost ( Intel TurboBoost を有効にする )</b></li> </ul> <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
Active Cores	<p>この設定では、オペレーティング システムに使用できる CPU コアの数を変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>All Cores</b> - デフォルト</li> <li>• <b>1</b></li> </ul>
Enable C-State Control	<p>プロセッサのスリープ状態を追加で有効または無効に設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>C States</b></li> </ul> <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>

## 電力管理

表 35. 電源管理

オプション	説明
AC Behavior	<p>AC アダプタが接続されるとコンピュータの電源が自動的にオンになる機能を有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Wake on AC ( ウェイクオン AC )</b></li> </ul> <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
Auto On Time	<p>コンピュータを自動的に電源オンにする必要のある時刻を設定できます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Disabled</b>—デフォルト</li> <li>• <b>Every Day ( 毎日 )</b></li> <li>• <b>Weekdays ( 平日 )</b></li> <li>• <b>Select Days ( 選択した日 )</b></li> </ul> <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
Peak Shift	<p>オペレーティング システムの環境でスリープに入るのをブロックすることができます。</p>
バッテリーの充電設定	<p>バッテリーの充電モードを選択することができます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Adaptive</b>—デフォルト</li> </ul>



オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Standard</b> - 標準速度でバッテリーをフル充電します。</li> <li>• <b>ExpressCharge</b> — デルの高速充電テクノロジーを使って、より短い時間でバッテリーを充電できます。</li> <li>• <b>Primarily AC use (主に AC を使用)</b></li> <li>• <b>カスタム</b></li> </ul> <p>Custom Charge( カスタム充電 )が選択されている場合は、Custom Charge Start( カスタム充電開始 )と Custom Charge Stop ( カスタム充電停止 ) も設定できます。</p> <p><b>❶ メモ:</b> バッテリーによっては、一部の充電モードが使用できない場合があります。このオプションを有効にするには、Advanced Battery Charge Configuration ( 高度なバッテリー充電設定 ) オプションを無効にする必要があります。</p>
<b>Enable Advanced Battery Charge Configuration</b>	このオプションにより、バッテリーの性能を最大限に活用できます。このオプションを有効にすることで、標準充電アルゴリズムと他のテクニックを使用して、非作業時間にバッテリーの性能を高めます。
<b>Block Sleep</b>	このオプションは、ピーク需要時の AC 電源の使用量を最小限にします。
<b>Wake on LAN/WLAN ( ウェイクオン LAN / WLAN )</b>	<p>このオプションでは、特殊な LAN 信号でトリガすることで、コンピュータの電源をオフ状態からオンにすることができます。スタンバイ状態からのウェークアップは設定の影響を受けないので、オペレーティングシステムで有効にする必要があります。この機能は、コンピュータが AC 電源に接続されている場合にのみ正常に動作します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Disabled</b>—デフォルト - LAN またはワイヤレス LAN からウェークアップ信号を受信すると、特殊な LAN 信号によるシステムの起動が許可されなくなります。</li> <li>• <b>LAN Only ( LAN のみ )</b> — 特殊な LAN 信号によるシステムの起動を許可します。</li> </ul>
<b>Enable USB Wake Support ( USB ウェイクサポートを有効にする )</b>	<p>USB デバイスでシステムをスタンバイモードからウェイクさせることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enable USB Wake Support ( USB ウェイクサポートを有効にする )</b></li> </ul> <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
<b>Wake on Dell USB-C Dock</b>	<b>Wake on Dell USB-C Dock</b> が有効な場合、Dell USB-C Dock に接続すると、システムをスタンバイから復帰させます。
<b>Wireless Radio Control</b>	<p>この機能が有効になっている場合、システムと有線ネットワークの接続を検出し、その後、選択したワイヤレス無線を無効化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Control WLAN radio ( WLAN 無線の制御 )</b></li> <li>• <b>Control WWAN radio ( WWAN 無線の制御 )</b></li> </ul>
<b>Intel Speed Shift Technology</b>	<p>Intel Speed Shift Technology を有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enabled</b> — デフォルト</li> </ul>
<b>Force Lpm And Aspm Off</b>	製造モードでは、強制的に SATA/USB を低電力モードにし、ASPM ( アクティブ ステート電源管理 ) をオフにします。

## ワイヤレスオプション

表 36. ワイヤレス

オプション	説明
<b>Wireless Switch</b>	ワイヤレススイッチで制御できるワイヤレスデバイスを設定することができます。

オプション	説明
	<p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>WLAN</b></li> <li>• <b>Bluetooth</b></li> </ul> <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p>
<b>Wireless Device Enable</b>	<p>内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>WLAN</b></li> <li>• <b>Bluetooth</b></li> </ul> <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p>

## POST 動作

表 37. POST 動作

オプション	説明
<b>Enable Numlock ( Numlock を有効にする )</b>	<p>このオプションは、システム起動時に NumLock 機能を有効にするかどうか指定します。</p> <p>このオプションはデフォルトで設定されています。</p>
<b>Enable Adapter Warnings( アダプタの警告を有効にする )</b>	<p>特定の電源アダプタを使用する場合に、セットアップユーティリティ( BIOS )の警告メッセージを、有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enable Adapter Warnings</b> - デフォルト</li> </ul>
<b>Extended BIOS POST Time</b>	<p>ブレード遅延を追加で作成できます。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>0 seconds</b>—デフォルト</li> <li>• <b>5 秒</b></li> <li>• <b>10 秒</b></li> </ul>
<b>Fastboot</b>	<p>一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスを高速化できます。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Minimal ( 最小 )</b></li> <li>• <b>Thorough</b> - デフォルト</li> <li>• <b>自動</b></li> </ul>
<b>Fn Lock Options</b>	<p>ホットキーの組み合わせ &lt;Fn&gt;+&lt;Esc&gt; で、F1 ~ F12 のプライマリ動作を標準機能と二次機能との間で切り替えることができます。このオプションを無効にすると、これらのキーのプライマリ動作を動的に切り替えることはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Fn Lock</b>- デフォルト</li> </ul> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>ロックモード無効 / 標準</b></li> <li>• <b>Lock Mode Enable/Secondary</b>—デフォルト</li> </ul>

オプション	説明
Full Screen logo	<p>お使いのイメージが画面解像度に一致する場合に、フル スクリーン ログを表示するかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enable Full Screen Logo ( フルスクリーンロゴを有効にする )</b></li> </ul> <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
Warnings and Errors	<p>停止/プロンプト/ユーザー入力の待機、警告の検出時には続行するがエラー時には一時停止、POST 処理中に警告またはエラーが検出されても続行、のいずれかのオプションを選択できます。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Prompt on Warnings and Errors</b>—デフォルト</li> <li>• <b>Continue on Warnings ( 警告検出でも続行 )</b></li> <li>• <b>Continue on Warnings and Errors ( 警告およびエラーの検出でも続行 )</b></li> </ul>
MAC Address Pass-Through	<p>この機能は、外部の NIC MAC アドレスをシステムから選択した MAC アドレスに置き換えます。</p> <p>次のオプションのいずれかをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Passthrough MAC Address</b>—デフォルト</li> <li>• <b>Integrated NIC 1 MAC Address</b></li> <li>• <b>Disabled ( 無効 )</b></li> </ul>

## Virtualization Support ( 仮想化サポート )

表 38. 仮想化サポート

オプション	説明
Virtualization	<p>このオプションでは、インテル仮想化テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM ( Virtual Machine Monitor ) で使用できるようにするかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enable Intel Virtualization Technology</b></li> </ul> <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
VT for Direct I/O	<p>ダイレクト I/O 向けインテル仮想化テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM ( Virtual Machine Monitor ) で使用できるようにするかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Enable VT for Direct I/O</b></li> </ul> <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>

## メンテナンス

表 39. メンテナンス

オプション	説明
Asset Tag	<p>Asset Tag が未設定の場合、システムの Asset Tag を作成できます。</p> <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
Service Tag	<p>コンピュータのサービスタグを表示します。</p>

オプション	説明
Bios Recovery from Hard Drive	<p><b>BIOS Recovery from Hard Drive</b> - このオプションはデフォルトで設定されています。ハードドライブまたは外付け USB キーのリカバリ ファイルから、破損した BIOS をリカバリできます。</p> <p><b>BIOS Auto-Recovery</b> - BIOS を自動的にリカバリできます。</p> <p> <b>メモ:</b> [ BIOS Recovery from Hard Drive ] フィールドを有効にする必要があります。</p> <p><b>Always Perform Integrity Check</b> - 毎回起動時に整合性チェックを実行します。</p>
BIOS Auto-Recovery	<p>ユーザーの操作なしで BIOS を自動的にリカバリできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Allow BIOS Downgrade ( BIOS のダウングレードを許可する )</b></li> </ul> <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
Start Data Wipe	<p>すべての内蔵ストレージ デバイスからデータを安全に消去できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Wipe on Next Boot</b></li> </ul> <p>このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>

## システムログ

表 40. システムログ

オプション	説明
Power Event Log	セットアップユーティリティ ( Power ) のイベントを表示またはクリアすることができます。
BIOS event Log	セットアップユーティリティ ( BIOS ) の POST イベントを表示またはクリアすることができます。

## SupportAssist システムの解決策

表 41. SupportAssist システムの解決策

オプション	説明
Dell Auto OS Recovery Threshold	<p>このオプションで、SupportAssist システム解決策コンソールおよび Dell OS Recovery Tool の自動起動フローを制御します。</p> <p>次のいずれかのオプションをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>オフ</b></li> <li>• <b>1</b></li> <li>• <b>2 - デフォルト</b></li> <li>• <b>3</b></li> </ul>

## デルへのお問い合わせ

- ① **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

- 1 **Dell.com/support** にアクセスします。
- 2 サポートカテゴリを選択します。
- 3 ページの下部にある **国 / 地域を選択** ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
- 4 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。